

講義名	ネットコミュニケーション				授業形態	
担当教員	寺口 敏生		開講期・曜日・時限		後期 火曜日 4 時限	
			単位数	2	履修開始年次	3 年生
主題と概要						
携帯電話やスマートフォン等の情報通信機器の普及と発展に伴い、コミュニケーションに関する多様なネットサービスが日々開発・提供されているという社会的背景がある。本講義では、インターネットを介したコミュニケーションが人間社会にもたらす変容について、さまざまな領域の事例を紹介しながら理解・分析することを目指す。						
到達目標						
人間の認知やネットコミュニケーションに関わる事例の理解を深めることで、インターネットを介したコミュニケーションにまつわる現象を主体的に分析できるようになる。						
提出課題						
講義中に、respon等の機能を通じて講義内容に関するレポート課題を出題する（各講義内に提出）。また、講義の区切りに、指定した締切までに提出する取りまとめレポート課題を出題する。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
講義中の解説をもってレポート課題のフィードバックとする。						
評価の基準						
期末試験は実施せず、講義中に出席する2種類のレポート課題（講義内レポートと取りまとめレポート）にて評価する。レポートの内容は主に3段階評価を想定し、取りまとめレポート課題のみ期限を過ぎても提出を受け付ける（ただし満点にならない点に留意されたい）。						
履修にあたっての注意・助言他						
2回目以降の講義資料は、講義開始前にWeb経由で提供する。レポート課題は、事情の説明があれば期日後も受け取るが、配点が少なくなる点には留意されたい。						
教科書						
使用しない。						
参考図書						
講義内にて都度提示する。						

その他		
授業計画		
第01回 ガイダンス 復習：講義内にて紹介したキーワードを基に情報検索を実施し、基礎的な知識の獲得に取り組む。（240分）		
第02回 ネットコミュニケーションとソーシャルメディアの概要 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第03回 人間の認知 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第04回 コミュニケーションの形態 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第05回 ネットコミュニケーションの明暗 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第06回 SNSと承認欲求 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第07回 炎上のメカニズム 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第08回 メディア情報との付き合い方 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第09回 フェイクニュースの現在 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第10回 情報発信 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第11回 インターネットによる学び方の変化 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第12回 インターネットによる働き方の変化 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第13回 ネットコミュニケーションの今後 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第14回 講義のふりかえり 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）		
第15回 まとめ 復習：これまでの講義内容を振り返り、獲得した知識を整理したうえで、今後のネットコミュニケーションへの関わり方を考える。（240分）		
注：受講者の進捗具合により、授業計画の見直しを伴う場合がある。 詳細は初回授業時に説明する。 なお、講義中で紹介する内容は、あくまで自己学習の導入である点に注意すること。		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク	
キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
「人間の精神機能と心理学に関する基礎的知識の獲得」と「意見や立場の違いを理解し、インターネット上で能動的にコミュニケーションする能力の獲得」を達成することで、総合的考察と情報処理能力に秀でた人材を育成するための科目である。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
講義に関する質問は、講義時間外でも随時受け付ける。また、講義内レポートはrespon等のWebシステムを通じての提出を求めるため、携帯端末の持参が必須である点に留意されたい。携帯端末を所有していない場合は、担当講師に申告すること。		
実務経験の有無及び活用		
実務経験あり。具体的な事例を基に講義する。		
備考		